

ニューヨーク州立大学

www.suny.jp

別冊ハガキ▶▶▶ 000



ココをCHECK!

世界最大かつ最高レベルの大学教育機構であるニューヨーク州立大学の2年制教養課程に直接入学できる注目の入学制度。日本国内で募集事務局の書類審査・面接を受けることで、TOEFLのスコアなしで入学できる。

教養課程のキャンパス(自然豊かで、とても安全な環境です。徒歩4分の寮あり)

世界最大の大学教育機構で世界水準を学ぶ

鹿児島県

文化・人間系

理工・技術系

法・政治系

医療・福祉系

外国語・国際系

経済・企業系

家政・生活系

社会・総合系

体育・健康系

芸術・表現系

生命・環境系

ニューヨーク州立大学(SUNY)機構は、4つのユニバーシティセンター(超総合大学)等、64のキャンパスに5100のカリキュラムと数多くの大学院を擁する世界最大の大学教育機構。ユニバーシティセンターは州都オールバニーのほか、バッファロー、ビンガムトン、ストーンブルックにあり、その1つオールバニー校は1844年に設立。広大なキャンパスに100以上の専攻があり、国際的に有名な700名以上の教授陣がハイレベルな教育・研究を行っています。この進学制度はこうした世界レベルの大学機構へ高校卒業と同時に入学するためのものです。

●システム

26年約400名の実績 信頼できる受け入れ体制を構築

この入学制度は、教養課程の留学生募集事務局の面接・審査に合格することで、ニューヨーク州立大学の教養課程(前期2年)に高校卒業と同時に直接入学するというもの。2016年6月期入学で26年になり、これまで全国から、約400名が現役でSUNY(スーニー)機構入学の夢を叶えています。

ご存じのようにアメリカの大学の教育は、講義を聞いて期末にペーパーテストを受けなければならないというものではありません。出された課題を予習し、最高でも15~20名程度で行われる授業に参加し、積極的に自分の考えを述べることも求められます。

評価はその授業ごとに行われ、単位認定は特に厳格です。アメリカの大学の学位・卒業資格が高く評価され世界に通用するのは、こうした教育システムへの信頼なのです。

●英語生活

定評ある英語集中プログラム 生活そのものが英語の勉強になる

こうした授業に参加するには、多くの課題を読みこなし、クラスメートや教師のいうことを理解し、自分の考えを述べる英語力が必要です。これには、TOEFLのスコアで約550点が必要といわれています。これを日本の一般英語教育で身につけるのは、かなり困難です。

この入学制度は、高校在学中に2年制教養課程の募集事務局の面接・審査に合格し

た後の米国学部向けの勉強と教養課程に入学しての英語集中プログラム(ESL)との連携で、この困難を短期間で克服します。

留学生のほとんどが当大学で学ぶことで、世界に通用する本格的なコミュニケーション力を身につけ、さまざまな分野で活躍したいと願う気迫ある高校生たちです。

こうした学生たちが、ESLで1 semester修了後、それぞれ中級、上級と確実にレベルアップしていきます。中級になった学生はESL科目とともに教養科目のいくつかを、上級になった学生は数多くの教養課程の科目をスタートします。

また、この入学制度は特に日本人留学生のために開発されたプログラムであるため、経験豊富なスタッフがそらっている点でも他に例がありません。入学説明・面接担当、ESL・教養・専門科目の教師とともに親切で、理解できるまで教えてくれます。

またキャンパスから徒歩で4分のところにあるスチューデント・ハウジング(寮)では、アメリカ人や各国留学生との共同生活です。お互いの料理や文化を教え合い、大学引卒の週末旅行にいっしょに出かけたりすることで、早く慣れることができます。

●授業

公立大学のため、学費、寮費は低廉 少ない経済負担で留学の夢を実現

ニューヨーク州立大学の2年制教養課程のあるキャンパスは、ニューヨーク市から車で3時間の郊外にあり、学生数は全部で

●入学募集要項の請求先

ニューヨーク州立大学 留学生募集事務局
〒892-0871 鹿児島市吉野町3274
Tel 0120-89-8899 Fax 099-244-3312
ホームページ www.suny.jp

●学科・専攻(教養課程:前期2年)

一般教養系(General Studies)

- 一般教養学(専攻学科未決定の者も含む)
- 幼児教育
- コミュニケーション
- 国際関係学
- 哲学
- 初等/中等教育
- 劇場(シアター)
- リクレーション学
- 図書学

人間科学系(Humanities)

- 英語(国語)
- 外国語科(フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語)
- フロードウェイ・ドラマ学

社会科学系(Social Science)

- 歴史学
- 政治学
- 都市学
- 社会学
- 心理学
- カウンセリング学

芸術・美術学系(Fine Arts)

メディア・アート系(Communication & Media Arts)

- ジャーナリズム
- ラジオ/TV放送学
- グラフィック/アート学
- 印刷技術
- コミュニケーション学
- ホームページ制作
- 番組制作

マルチ・メディア学系(Multi-Media)

- クラフィック/アート学
- 印刷技術
- コミュニケーション学
- ホームページ制作

ビジネス経営管理学系(Business Administration)

- 会計学
- 経営学
- 国際ビジネス学
- 広告学
- 人事学
- マーケティング

工学系(Engineer Science)

- コンピュータ科学
- 建設工学
- 視聴覚工学
- 電子工学
- 土木工学
- 電気通信
- 機械工学
- ロボット工学
- 自動車工学
- 建築工学
- 電気工学
- 材料工学

サイエンス/自然科学系(Science)

- 生物学
- 動物学
- 理数学
- 海洋学
- 地理学
- 看護学
- 医学・歯学・薬学・獣医学部予科(Pre-medical/Pre-dental)
- 化学
- 環境森林学
- 科学教育
- リクレーション学
- 保健学
- 物理学
- 気象学
- 天文学
- 天然資源
- 体育学

事務管理工学系(Office Technology/Administrative)

- 医療事務
- アシスタント/パブリッシング
- ワープロ・情報処理
- 法律
- 裁判学
- 秘書学

料理・調理管理学系(Food Service Administration)

- レストラン経営
- 栄養食事療法

約2,200名。そのうちの150名程が世界20カ国から集う留学生です。

留学生はこの教養課程に入学して、ESL科目と規定の64単位を取得したのち、ニューヨーク州立大学機構の各校(寮あり)、あるいはニューヨーク大学やコロンビア大学、ハーバード大学、MIT、カリフォルニア州立大学などの3年次に編入していきます。

ニューヨーク州立大学などアメリカの大学の学費は、セメスター単位で支払います。ニューヨーク州立大学の2年制教養課程の学費は、夏学期(6月~8月)秋学期(9月~12月)春学期(1月~5月)とも約3,500ドル(約35万円/教科書代込)寮費も1学期(4ヶ月)47万円(食費/部屋/水道/光熱費込)です。

寮(学生用住居)での食生活費は物価が日本と比べて約半分と安いので、日本の大学に入るのとあまり変わらないか、もっと安い費用で留学できます。

また、日本人学生はまじめに努力する人が多いため、成績優秀で奨学金付きで大学専門課程に編入する人も数多くいます。

A-002

●ニューヨーク州立大学
入学から卒業まで

調査書の提出

高校1~2年生(または3年生1~2学期)までの調査書(成績証明書あるいは通知票のコピー可)を面接前に郵送して下さい。

入学説明・面接

鹿児島市・東京・大阪などで行われる入学説明・面接に、ご本人と保護者(父親または母親)で参加します。(高校2年生の夏休みから面接を受けられます)

結果通知

面接(日本語および英語による)、調査書を総合して面接時(または後日)に結果通知します。

入学申込・書類提出

入学確定(合格)者はNY州の法律により、はしか・風疹・おたふく風邪の免疫・抗体検査の書類を提出。(合格者に規定の英文書式を送ります)

勉強・ガイダンス

英語力の向上やさまざまな渡米準備を指導、留学生保険の手続きも行います。(高校在学中から米国学部向けの英語の勉強を頑張ってください)

出発・入寮

全員いっしょに成田空港から出発します。現地空港には大学や寮の関係者が出迎えに来ています。出発は1月入学は1月19日頃、4月入学は4月15日頃、6月入学は5月25日頃、7月入学は7月5日頃、9月入学は8月26日頃を毎年予定しています。

教養課程入学・卒業

ESL科目を受け、11系71専攻から自由に選択。規定の64単位で準学士号(A. D.)を取得し、ニューヨーク州立大学機構の専門課程や他のアメリカの大学3年次に編入(特に編入試験はなし)。日本の国公立大学や私立大学3年次編入の可能性もあります。

専門課程編入・卒業

専攻や希望によりニューヨーク州立大学機構の専門課程各キャンパスで、さらに規定の64単位を取得して、ニューヨーク州立大学の学士(B. D.)の学位が取得できます。日本企業やアメリカ企業、官公庁、国連機関、あるいは世界中の大学院など、夢の舞台が大きく広がっています。

先輩からのメッセージ



海外に出てみて初めて日本がよくわかった

島津 恵利子さん
ニューヨーク州立大学卒業
広島大学大学院修士課程修了
(広島県立井口高校出身)

アメリカの大学に行こうと思ったのは、世界語である英語のコミュニケーション力をつけるとともに、他国に住むことで、独立心や自立心、国際感覚を身につけようと思ったからです。

SUNYの2年制教養課程の募集事務局があり、入学説明・面接・入学確定・勉強・ビザ・寮の手配まで高校在学中に行えるという安心感で選びました。

教養課程を卒業して専門課程に進学するには、一定の成績を

クリアしなければならず、そのために、後に寮からホームステイに変更するなどして勉強に集中。成績も上がって、3年次から専門課程(Albany)に編入しました。

専攻としたのはアジア研究。日本に興味をもつ多くのアメリカ人や留学生と日本文学・文化について話したり、韓国語や中国語を学んだりしました。また、学業の合間を見て大学のレディーステニスチームに所属し、正選手として他校への遠征に参加したりしました。

毎セメスター、成績優秀者に選ばれ、卒業時にも成績優秀者として表彰されたのも、こうした学業・スポーツともに充実した毎日があったからだと思います。

SUNYを卒業して郷里の広島大学大学院に入学、日本とフィリピンにおける環境教育の比較について研究しましたが、この研究の基礎はSUNYで学びました。Looking out is in. (外を見ることにより、内かよりいっそう理解できる)という言葉がありますが、私の場合がまさにそれででした。

(6月入学。広島市で面接)



最初の苦勞が今の自信に。マンハッタンで働く夢を現現しました

小島 梨絵さん
ニューヨーク州立大学卒業
(飛び級3年間で卒業。埼玉県川越市出身)

私は、日本の高校からニュージーランドの高校に途中で留学し、そのまま卒業したのですが、アメリカの大学を選んだのは、その寛大な教育方針に惹かれたからです。私は興味のある科目が多すぎて、卒業時点で学部が絞れませんでした。そこで、教養課程から入るアメリカの大学は魅力でした。2年制教養課程の募集事務局の面接で、学部の変更も簡単、専門課程への大学編入も当たり前だと聞き、これだと思いました。カナダやイギリス、ニュージーランドの大学も調べましたが、やはり入学時に学部・学科を決めるのがネックでした。

ニューヨーク州は、比較的いい大学が周辺にまとまっていたこと、そして州立大学は、学費が比較的に安いのが魅力的でした。また、2年制の教養課程なら規模が小さいので単位が取りやすいのと、教授に顔や名前まで覚えてもらえるだろうとも思いました。

入学当初は社会学に興味があったので、Social Science

のクラスをかなり取りました。英語力が必要なためかなり負担でしたが、今思うと自分の英語力を上げるいい機会だったと思っています。

英語のクラスをとり終えた最後の学期では文学のクラスを取り、そのおかげで自分のエッセイにもかなり自信が付ききました。その他にも理系のクラスなども幅広く、偏りのないように取りました。

最初は法律を専攻し弁護士を考えていましたが、最終的にビジネスを専攻することに決めました。それは、将来Financial Analystになろうと思ったからです。

教養課程を1年半で修了して、9月からは専門課程(バッファロー校)に編入して1年半で卒業し、大学を3年間で卒業することができました。そしてマンハッタン公認会計事務所就職が決まり今頑張っています。将来、大学院でも専門的な知識を伸ばしたいと思っています。

この3年間で振り返ると、精神的にかなり強くなったと思います。日本でどこかで親に甘えていた部分があったのですが、アメリカで何をやるにも自分次第なのです。とくに大学は、自分から行動しなければ誰も相手にはしてくれません。英語に不安があった留学に踏み切れない人もたくさんいると思いますが、実際住み始めれば英語力はいくらでも上がります。私も決して英語のできる生徒ではなかったのですが、はじめはかなり苦労しましたが、今はその苦労が自分の自信になっています。

(1月入学。鹿児島市で面接)



留学で大切なのは何か目的を持つこと。高校卒業で留学すれば同世代の友人ができる

山口 富美さん
ニューヨーク州立大学4年
(鹿児島県立鹿児島東高校出身)

大学生活をアメリカで送ろうと思ったのは、違う環境で自分をおいて勉強してみたかったからです。日本の場合だと親や友達を頼りがちで、その上、周りに遊びという誘惑があったりするのです。そういう状況から離れた自分がどれだけ頑張れるかを試してみたかったのです。

SUNYは、卒業後の進路をどうしようかと悩んでいた高2の時に、友達から教えてくれたホームページで知りました。調べていくうちに、募集事務局も地元であり、ここならやってみようと思ったのです。親も理解があり、後で後悔しないならということでOKしてくれました。

入学して大変だったと思うのは、やはり言葉の壁です。自分で頑張ってるつもりでも、なかなかテストなどで結果が出せず落ち込んだ時もありました。でも、アメリカ人の友達や先生と仲良くなって、いっしょに遊んだり、パーティに呼ばれたりするうちに、だんだん壁を感じなくなりました。

教養課程を1年半で修了して、1月からは専門課程(ブラッドバーグ校)に編入しました。現在の専攻はBusinessで、今後はInternational Businessを中心に勉強していきます。将来は、高校と大学で勉強してきた中国語と英語を活かして、貿易など輸出入に関わる仕事に就きたいと思っています。

今まで大学を卒業してから留学するといふ人が多かったと思いますが、私はそれはある意味遠回りでも、もったいない方法だと思っています。高校を卒業してから留学すると、ちょうど同じ世代の人たちと勉強したり遊んだりできるので、いろいろな意味で刺激になると感じています。

まず教養課程で2年ほどの経験ですが、留学で大事なことは、何か目的を持つことです。それさえあれば、あとはやる気次第です。

(4月入学。鹿児島市で面接)

ニューヨーク州立大学機構の専門課程キャンパス

● University Centers

State University of New York at Albany
State University of New York at Binghamton
State University of New York at Buffalo
State University of New York at Stony Brook

● Colleges of Arts and Science

Empire State College
State University College at Brockport
State University College at Buffalo
State University College at Cortland
State University College at Fredonia
State University College at Geneseo
State University College at New Paltz
State University College at Old Westbury
State University College at Oneonta
State University College at Oswego
State University College at Plattsburgh
State University College at Potsdam
State University College at Purchase

● Specialized Colleges

College of Environmental Science and Forestry at Syracuse
Maritime College at Fort Schuyler
Institute of Technology at Utica/Rome
Fashion Institute of Technology at New York City (FIT)

● Colleges and Centers for the Health Sciences

Downstate Medical Center at Brooklyn
Upstate Medical Center at Syracuse
College of Optometry at New York City

Health Sciences Center at Buffalo University Center
Health Sciences Center at Stony Brook University Center

● Statutory Colleges

College of Agriculture and Life Services at Cornell University
College of Human Ecology at Cornell University
College of Veterinary Medicine at Cornell University

● SUNY以外の編入提携校

New York University (NYU)
Syracuse University
City University of New York (CUNY)
Cornell University
Rochester Institute of Technology (RIT)
American University ほか多数



卒業おめでとう。次は君の番だよ。